

超便利
札幌～函館
寄り道ガイド

北海道

八雲

Y a k u m o



一般社団法人 八雲観光物産協会

八雲町へのアクセス

【道内からの交通】

- JRの場合
函館駅から……約1時間
札幌駅から……約2.5時間
新千歳空港から……約2時間
- 車の場合
札幌から……約3.5時間
小樽から……約3時間
千歳から……約3.5時間
苫小牧から……約3時間
函館から……約1.5時間
室蘭から……約2時間

【本州からの交通】

- フェリーの場合
函館港、苫小牧港、小樽港、室蘭港から、それぞれ車の時間
- 飛行機の場合
・新千歳空港→JR八雲駅 特急で約2時間
・函館空港→JR八雲駅 特急で約1.5時間
- JRの場合(JR八雲駅まで)
・東京駅から北海道新幹線・特急で約5時間



問い合わせ 丘の駅(八雲町情報交流物産館・八雲観光物産協会)
二海郡八雲町浜松368-8(道立公園噴火湾パノラマパーク内)
TEL 0137-65-6100 FAX 0137-62-2136

- 定休日 毎週月曜日
- 月曜日が祝祭日と重なった場合は祝祭日明けの平日
- 営業時間10:00～18:00
- ホームページ <http://www.yakumo-okanoeki.com/>
info-okanoeki@yakumo-okanoeki.com



The Pacific Ocean
太平洋

太平洋と日本海

日本で唯一、二つの海を持つ町

八雲では一日のうちに太平洋(噴火湾)に上る朝陽と日本海に輝く夕陽を見ることができる。
そんな時間を過ごすことができるあなたに「しあわせ」が訪れる。



八雲町熊石地域と日本海の夕陽

日本海
The Sea of Japan



八雲町情報交流物産館
「丘の駅」

なんといっても「丘の駅」がおすすめです。八雲町内だけではなく、近隣の観光情報や物産品も豊富に揃い、さながら道南のアンテナショップ。八雲町木彫り熊資料館のサテライト展示もある充実施設です!観光の問い合わせにも全て応えてくれる。

問い合わせ:TEL 0137-65-6100 <http://www.yakumo-okanoeki.com/station/>

味覚

オフ・メ 物産品

二つの海があるからこそ揃う豊富な海産物や、八雲の生乳を使った牛乳、チーズ、アイスクリーム、そして八雲牛・ハム類、さまざまなお菓子や味噌・醤油など一次産品を活かした豊富な特産品は八雲ならではの!



天然ハーブと麦の飼料で育った健康豚
八雲けんこう豚ソーセージと生ハム



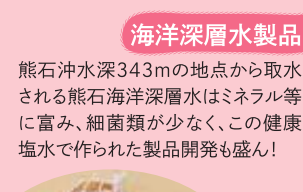
北海道酪農発祥の地八雲が誇る美味しさ
チーズ



もち米

地酒

ビール、日本酒と八雲産原料を使ったお酒も人気



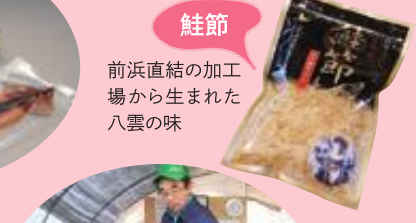
熊石沖水深343mの地点から取水される熊石海洋深層水はミネラル等に富み、細菌類が少なく、この健康塩水で作られた製品開発も盛ん!
海洋深層水製品



国産ハーブ鶏の最高級
スモークチキン



良質な北海道大豆や昆布を使った伝統の逸品!
みそ・しょうゆ



産直市でも大人気の新鮮な八雲野菜
野菜



フランスにも出荷されるほど良質な、八雲ホタテの贅沢な燻製
ほたて貝柱燻製



八雲の美味しい牧草で育った絶品八雲牛
草熟北里八雲牛カレー、シチュー、ハンバーグ



ふたふた二海カレー
食卓処伊勢屋
八雲町産の食材と牛乳を使用したホワイトカレー。



スイーツ



お食事

ヨーロッパの酪農を手本にして始まった、北海道酪農の発祥地といわれる八雲産の牛乳は、美味しい牧草を食べて育った八雲の牛たちからの贈り物。牛乳産地ならではのスイーツは、ここでいただくのがイチバン!

日本海と太平洋を持つ八雲。蕎麦、ラーメン、お寿司、焼肉などなど、八雲産の食材を豊富に使った「北海道の味」を八雲でぞんぶんに味わってください。

四季と祭



八雲神社例大祭
八雲神社の例大祭(6月20~22日)では、神輿渡御が町内を練り歩き松前神楽の舞などが披露される。

春



熊石あわびの里フェスティバル
熊石特産のあわびをはじめ日本海の新鮮な海の幸が味わえる。
(5月第3日曜日)

夏



八雲山車行列

毎年7月の第1金・土曜日の2日間にわたって開催される、夏の夜の八雲の一大イベント。北海道三大あんどん祭の1つとして知られている。

根崎神社例大祭

熊石地域では8月のお盆期間中、根崎神社、泊川北山神社、相沼八幡神社の三社の古い歴史を持つ例大祭が各地区で相次いで開催され、奴行列なども披露される。

秋



やくも大漁秋味まつり
新鮮な魚介類を買い求める人で賑わい、鮭のつかみ取りが人気。(10月第4日曜日)



鮭の遡上

八雲さむいべや祭り

噴火湾パノラマパークの冬恒例のイベント。長さ日本一と言われるダイナミックな100mの水滑り台。スノーモービル白熊号の運行、チューブそり滑りなど寒さを忘れる楽しさ。
(2月上旬)

冬



温泉

温泉パラダイス八雲!個性派ぞろいの温泉郷八雲、それぞれが情緒豊かな温泉宿。多様な泉質に恵まれ、料理自慢の宿ばかり。リピーター率が高いのもうなづけるほど八雲の温泉は魅力的だ。

上の湯温泉 銀婚湯

厳選素材を吟味した料理も自慢の、紅葉と自然を生かした庭園が美しい和風旅館。



見市温泉 見市温泉旅館

ひらたない温泉
八雲遊楽亭ひらたない荘

熊の湯

上の湯温泉
パシフィック温泉ホテル清瀧園

浜松温泉 八雲遊楽亭

八雲温泉 おぼこ荘

雲石峠にさしかかる鉛川上流にある山間の温泉。星空を眺めながらの露天風呂は絶景。



八雲町全体MAP



八雲市街地MAP



八雲のルーツ



尾張徳川入植の歴史
1878年、徳川慶勝公が北海道開拓と併せて尾張藩旧臣授産のため、遊楽部(ユラップ)の地に旧尾張藩家臣団の入植を行いました。「八雲」の町名は慶勝公が古事記にある古歌から名付けました。



八雲町木彫り熊資料館(郷土資料館内)
尾張徳川家第19代当主義親公(1886~1976)は、スイスのベザントアート(民芸品)を参考に木彫りを農民の冬期間の副業とすることを思いつきます。北海道第1号の木彫り熊とそのモデルとなったスイスの木彫り熊、北海道内の木彫り熊が多く展示されています。
月・祝・年末年始/9:00~16:30/入館料:無料/TEL 0137-63-3131



熊石歴史記念館
ニシノ漁の歴史をはじめ、元禄4(1691)年に設置された熊石番所や北前船によってもたらされた歴史・文化などが展示されている。1966年、鮎川地区の洞窟で偶然発見されたメノウ入り土偶(レプリカを展示)は玉装飾土偶として非常に珍しく、国指定重要文化財として国立歴史民俗博物館に保存されている。
月・祝・冬期間(11月1日~31日)休/9:00~17:00/入館料:小中高生150円、大人300円、10人以上団体割引あり/TEL 01398-2-2200